

《2022-2023年度主題》



国際会長 K・C・サミュエル(IND)
 “Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”
 アジア太平洋地域会長 チェン・チ・ミン(TWN)
 “Elegantly Change with New Era”
 東日本区理事 佐藤 重良 (甲府21)
 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
 湘南・沖縄部長 小松 仲史 (厚木)
 「楽しく・元氣よく・前向きに」
 クラブ会長 今城 高之
 「楽しく、なにはさておき楽しく！」

2022-2023 クラブ役員
 会長 今城 高之
 直前会長 辻 剛
 書記 岡田 美和
 会計 横田 孝久

今月の聖句

父よ、あなたがわたしの内に
 おられ、わたしがあなたの内に
 いるように、すべての人を
 一つにしてください。

ヨハネ17・21

10月本例会

秋の三浦半島を巡る移動例会
 ～プログラム～

- ◇第1集合地点 08:30
- ◇第2集合地点 09:00
- ～車中で例会を行います～
- ◇横須賀到着 10:00
 - ・軍港めぐり遊覧船
 - ・ヴェルニー公園散策
- ◇三浦YMCA GEV 到着 12:30
 - ・施設視察/案内
 - ・昼食
(出発 14:15)
- ◇三崎 うらりマルシェ 14:40
 - ・ショッピング
 - ・散策
(出発 15:15)
- ◇横浜中華街 16:15
 - ・散策・ショッピング
 - ・会食 (心龍) 17:00
(出発 18:45)
- ◇第1解散 (桜木町) 19:00
- ◇第2解散 (センター南) 19:45

* 上記の時間はあくまで目安です。
 道路状況等により変更の可能性が
 あることをご了承ください。



《巻頭メッセージ》 私と英語 杉本千津子

私にとって英語というのは、長い人生の友とでもいうべ
 き、常に身近なものでした。6歳のころ住んでいた
 横浜の山下公園が見える「互楽荘」というアパートの近くを
 母と散歩すると、外国人の水兵さんが話しかけてきたりし
 て、それに英語で応える母を誇らしく思った記憶が残ってい
 ます。結婚後数年間を父と共にニューヨークで過ごした母は



日常会話には事欠かないほど英語が話せました。その後まもなく、父の転勤で
 私たちは中国に渡り、初めは広東、その後上海と移り、そこで終戦を迎えます。
 引き揚げて神戸に住むようになり、小学6年生になると、学校では英語の課外
 授業があり、基礎英語を習いました。学んだ成果を母に報告するのがとても嬉
 しかったことを覚えています。中学から本格的な英語の勉強が始まりました。
 アメリカ人の先生のクラスは本当に楽しく、学芸会で英語劇をしたりして次第に
 英語にのめり込んでゆきました。高校ではESSに所属し、スピーチコンテストで
 入賞するなど英語三昧の日々を送りました。大学は英文学科に進み、更に
 英語に磨きをかけ、3年のとき、念願の英文毎日新聞社主催の「全日本大学
 生英語弁論大会」で準優勝したのは良き思い出です。就職するに際しては
 英語を生かせる職場しか頭になく、幸いにも、東京の祖父が勧める帝国ホテル
 に入社、フロント係として3年間勤務しました。当時は国際クラスのホテルと言
 えば帝国ホテルしかない時代だったので、多くの海外の有名人に接することが出
 来ました。縁あって、銀行勤めでニューヨーク転勤が決まっている人と結婚し、
 ニューヨークに行くことになりました。その人に惹かれたのかニューヨークに惹かれ
 たのかは今もって定かではありませんが・・・3年間のNY生活は夢のようなもの
 でした。コロンビア大学の聴講生となり様々なクラスを経験したり、ブロード
 ウエーのミュージカルを観たりの日々でした。

二度目のNY生活は、二人の息子を伴ったのと、夫の立場が変わってアメリカ
 人や他社の日本人とのお付き合いも多くなり、前回とは違った意味で充実した
 5年間となりました。帰国して数年後、息子たちの進学や就職も一段落したこ
 ろ、友人の紹介で玉川高島屋のカルチャーセンターで「すぐ役に立つ英会話」と
 いう講座を受け持つこととなり、以降20年間クラスは続きます。その間、生徒
 たちを連れてのニューヨーク、ボストン、カナダ等への旅行が好評を博し、数回も
 続きました。私のクラスは大賑わいだったのです。80歳を過ぎ、さすがにクラス
 を持つのはやめました。コロナの前までは、何人かの生徒さんに頼まれて個人
 レッスンを続けていました。

これが私の長い長い英語とのお付き合いのお話です。先ず習い、使い、そして
 教えたのが英語でした。今も多くの人たちが色んな方法で英語を学んでいま
 が、どんな方法であれ変わらないのは、先ずはよく聞くこと、そして話すこと。
 間違おうが、失敗しようが、実践第一！これが極意です。(了)

《例会報告》

2022年9月度本例会

鈴木 恭子 記

日時：2022年9月23日（金）17:00～

会場：みんなの家「夢カフェ」

出席：今城H・T、大野、岡田、鴨下、杉本、鈴木K・S、
辻Ta・Tu、横田、
ゲスト：水谷裕子さん 玉川和義さん（13名）

司会：今城宏子 受付・報告：鈴木恭子

～議事次第～

1. 開会

今城会長による開会点鐘に引き続き、ワイズソング・ワイズの信条を一同で唱和。
今月の聖句・祈禱は相賀チャプレンが所用で欠席のため鈴木Sワイズが代読。

2. ゲスト・ビジター紹介

今城会長よりゲスト、水谷裕子さん（You & I コンサート運営委員会）と玉川和義さん（当日の卓話者）が紹介された。

3. 会長挨拶

本日は夢カフェにて、水谷さんと玉川さんをお迎えして久しぶりに対面のみの本例会を持つことができ嬉しい。本例会の前に、この会場でYOU & Iコンサートの第1回の打ち合わせ会がおこなわれた。みんなで協力して楽しいコンサートにしたい。

4. 卓話 玉川和義さん「身近なボランティア」

玉川さんは都筑区中川地区の民生委員をしながら子供たちの見守り活動を続けてこられ、その具体的なお話がありました。

- ・小・中学校で教師をしている時に、学校外でも父兄が子供たちを見守る活動をしているのに感銘を受け、退職後は自らも地域でのボランティア活動に取り組んできた。
- ・定期的な活動として、子供たちの通学路や地域での見守り、都筑区の寄り添い方支援として個別の勉強や生活の指導を行なっている。
- ・活動を通して、自分自身も子供たちの親から信頼されていることを実感しながら、子供たちの成長を見守ることができることに喜びを感じる。
- ・他に、ラグビーワールドカップやオリンピックでのボランティアのほか、各地の被災地支援活動にも参加するなど広範囲な活動をしておられる。

5. 協議・報告事項

1) 秋の移動例会について

10月本例会（10月28日）に三浦半島（三浦

YMCAエコビレッジ他）へのバス旅行を計画。

運転手（臼田さん）と24人乗りのバスは既に手配済み。（バスのキャンセルは10日前迄）

●旅費は参加者15名以上で一人10,000円程度（昼食、夕食こみ）を予定。

●コースは横須賀軍港巡りの後、YMCAエコビレッジを訪問し、施設の見学、昼食を経て、三崎を回って横浜に戻り、中華街で夕食、などの案が出ている。

●体力に自信が無いのでなるべく歩かないところへ行きたい、などの意見も出された。

●横浜つづみクラブへも参加を呼びかける。

※結果5名の方々が参加することとなった。

2) 第10回YOU & Iコンサート（11月12日）

●本日本例会直前第1回運営委員会を開催。

●当日の役割分担を含む詳細は、10月の事務例会で相談する。司会者は今城宏子さんに決定。

●鴨下さんから、YMCAからの手伝いはスタッフ10名程度を予定、チャリティーランからの支援金10万円の申請に対して、7万円位承認可能との報告があった。

6. YMCA報告

●チャリティーラン

12月15日に臨港パークで幼児コースと仮装コースが対面で行われ、他は昨年と同様に各自が期間中に歩いた歩数のオンライン申請により順位をきめる。

●北YMCAバザー：11月3日（木）食べ物については、現場での調理は行わず、YMCAアンジュのパンを主体とした販売となる。

●雑貨（蚤の市）の会場は3階にして、入り口と出口を別にする。

●前日と当日のお手伝いをお願いしたい。

7. アピール、スマイル、バースデー なし。

閉会点鐘 今城高之会長



夢カフェでの本例会

《11月度本例会卓話のご案内》

私達の日々の生活で「水」はあって当たり前ですが、11月の本例会では、大野君枝ワイズのご紹介で、「水」に苦しむアジアの人たちに永らく手を差し伸べてこられた方を招いてお話をお伺いすることになりました。皆様奮ってご参加ください。

～卓話者のプロフィール～

卓話者：岩田 芳晴さん

演 題：共に流そう小さな汗を～フィリピンの過疎の町で清潔な水が得られず苦悩している人たちに近くの山の湧水を供給すべく水道を建設した体験談。

《岩田芳晴さん略歴》

川崎市宮前区鷺沼在住。

昭和12年（1937年）大阪府堺市に生まれる。

総合商社“丸紅”で国内外のビジネスに従事。

その間、ニューヨーク（米国）、カイロ（エジプト）、アクラ（ガーナ共和国）に駐在勤務。

退職後、民間の国際協力団体・公益社団法人アジア協会 アジア友の会（WEB サイト以下）に入会。

本部事務局でフルタイム無給スタッフを約6年務めた後、同会会関東地区の会員たちと活動、現在にいたる。同会の活動の主な目的はアジア諸国の過疎の地で清潔な水が得られない人々に衛生上問題のない水を供給するため井戸及び、簡易水道の建設を支援すること。

ご自身も会員たちとインド、ネパール、カンボジア、ベトナム、タイ等で土地の人々と作業従事している。

[アジア協会アジア友の会\(JAFS\) | 水から始まる、さまざまな支援。](#)

（クリックするとホームページがご覧になれます）

北 Y 便利

横浜北YMCA 健康教育部 森山 真治



9月10日（土）、11日（日）に、三浦YMCAで、成人会員の方を対象に「大人の休日キャンプ」と題してキャンプを実施しました。キャンプには、横浜北YMCA、湘南とつかYMCA、YMCA山手台センターより13名の方が参加し、横浜北YMCAからは引率スタッフの飯野さんと成人会員の方、ご友人の方が参加をしました。

初日は三浦YMCAから和田長浜海岸を經由しソレイユの丘までハイキングを行い、2日目は、三浦YMCAで、カヤック、シュノーケル、サップ（サーフボードの上に立ち、一本のパドルで左右を交互に漕ぎ、水面を進む）のマリンスポーツを体験しました。また、夜は焚火を囲み語らいの場を持ちました。

参加者からは、「新しい方とお話する機会は、本当に少

ないので貴重な経験になりました」、「70歳を過ぎて、マリンスポーツというものを初めて体験しました」、「久しぶりの山歩きで歩けるか心配だったが、まだまだ歩けると感じた」、「戦後の貧しい日本で、薪でご飯を炊いた後、コンロに薪をくべながら話したことが懐かしく、思い出に浸りました」と様々な感想が寄せられ、充実したキャンプを体験されたようでした。

ある統計では、65歳以上の方の約7割近くが、年に1回以上国内の宿泊旅行を行っていると言われています。今後もシニアの皆様が、様々な体験ができるよう、「大人の休日キャンプ」の第2弾、第3弾を企画、実施して参ります。是非、皆様のご参加を心よりお待ちしております。季節の変わり目ではございますが、ご自愛ください。（完）



眼下に駿河湾を望む
三浦YMCAグロウバル・エコ・ヴィレッジ

《例会報告》

2022年10月事務例会

クラブ書記 岡田 美和

日時 : 2022年10月11日 (火) 17:00~19:00

会場 : みんなの家“夢Café”

開催方式 : ハイブリッド

司会 : 今城高之会長 報告 : 岡田美和書記

出席者 : 今城 T・H、岡田、鴨下、鈴木 K・S、横田
ZOOM参加 大野、辻 T・T s

1. 開会点鐘・黙祷 今城高之会長

2. 会長挨拶

少しずつではあるが、従来の活動に戻りつつあることは喜ばしいことで、先ずは、秋の移動例会、次いで You & I コンサート (第10回記念) を成功させたいとの決意が述べられた。

3. 協議確認事項

①3年ぶりの秋の移動例会は10月28日 (金) に横須賀港遊覧船、三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ訪問、三崎魚港 (うらりマルシェ) を回り、最後に横浜中華街で会食して終わる日帰りバスツアー。会費は6500円で、つづきクラブ12名、つるみクラブ5名 (予定)、ゲスト2名、運転手さんの20名が参加の予定。(詳細は別途)

②第10回コンサート準備進捗状況の件

案内チラシ2000枚を作成し、関係方面への配賦、

掲示を行っている。また、クラブのfacebook、「ひろたりにあんWEB版」に案内が掲載されたほか、今後、神奈川新聞、東京新聞のイベント欄に掲載の予定。

③第25回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーランが10月15日に開催され、クラブからは、岡田、横田、今城Tがボランティアとして参加予定。

4. 今後の行事予定

10/15 (土) 横浜YMCAチャリティーラン

10/22 (土) 湘南・沖縄部大会

10/28 (金) クラブ本例会 (移動例会)

11/9 (火) クラブ事務例会 (田園都筑教会)

11/25 (金) クラブ本例会 (かけはし都筑)

11/26 (土) 第2回湘南・沖縄部評議会

12/6 (火) Y-Y's 協議会

5. 報告

1) クラブ関係

10/4 (火)、つづき社協の呼びかけで赤い羽根共同募金活動に参加。今城T、岡田、横田の3名がセンター南駅頭に立つ。

2) YMCA関連

11/3 (木) 横浜北YMCAまつりの前日準備・当日の協力者を募った。

※閉会後は最寄りの中華料理にて会食 (完)

《TKBお仕事会》

当クラブのお仕事会、TKBの定例会が10月12日に開催され、東日本大震災被災地の施設に送るバースデーカード (10月分、11月分) を作りました。コスモスの折り紙は高齢者施設「みやま荘」へ送るもの、猫とカボチャはつばめの杜保育所へ送るものです。

メンバー7名、助っ人2名 (いずれも女性) とクラブの被災地支援プログラム担当の辻直前会長が差し入れと共に参加。手と口を動かしての楽しいひと時を過ごすことができました。



↑みやま荘のお年寄りたちにはコスモスの花をあしらいました。

つばめの杜保育所の子どもたちへ。猫とカボチャ↓



《会長のひと言》

この季節のことを歳時記では「うそ寒」というそうです。「うそ」は「薄」からきているとのことですが、定めし、今日この頃のような「うすら寒い」といえばよりニュアンスが伝わるのでしょうか。ググってみると『うそ寒にくさめ七十二回かな』という句が引用されていましたが、正に今朝方の起き掛けに経験したとおりです。さて、コロナ感染者減少傾向の報にほっとしています。クラブでは、10月末に日帰りバス旅行「移動例会」で三浦半島の横浜YMCA三浦キャンプ場他を訪ねる計画があるのと、11月には、第10回記念の“You & I コンサート”開催を計画しており、どちらもクラブの主要行事で、大切にしてきたものです。昨年と一昨年の2回はコロナ禍で何れも開催できませんでした。今年は、おっかなびっくりながら、何とかこの2つのイベントをやり切ろうと準備を進めています。コロナもさることながら、ここで、私たちがインフルエンザにでもかかろうものなら元も子もないので、クラブの皆さんは十二分にご注意いただきますようお願いいたします。コンサートは来場者が大勢来て下さるかどうか、やきもきしています。前日にはみんなでテルテル坊主でも作って好天を願いたい気持ちです。

《連載寄稿》

恥ずかしのワイン蘊蓄 ～13～

横田 孝久

先月はブルゴーニュワインの特に北のシャブリとコート・ド・ボーヌ地区やコート・ド・ニュー地区を主に説明しましたが、もっと南にはボーヌからマコンまでボージョレイなどまだまだ紹介は尽きません。でも、解説書ではないのでこれくらいにしておいて、以前に小生がパリに出張した折に訪れたレストランでの食事について記憶の範囲で紹介をしたいと思います。8月号にブルゴーニュはジビエ料理と紹介しましたが、まさにここです。

パリは20の区に分けられています。食事をしたレストランは3区にあります。店の名は「シェ・ラミ・ルイ」といいます。今年99年目を迎える老舗です。現在でもほとんど当時のままだと思う極希少なビストロで、テーブルの数も数席で地下に厨房があったと記憶しています。料理の作り方や提供されるメニューも軽めの料理を適量食べる傾向である世の中であっても、一向に影響されずに、半端じゃない量（1人分がローストチキンまるごと1羽）を提供され、料理方法も昔ながらのスタイルで気前よく出している店です。お客様は映画界・音楽界など世界的に活躍している方々が多くおられます。パリ3区の少し寂れた通りにあるのですが、連日大繁盛で予約もなかなか取れません。さて、店の事はこれくらいにして、料理とワインを紹介したいと思います、諦めずに読んで頂ければ幸いです。



一番安いシャブリの白ワインを頼みましたが、キンキンに冷えていて最高、エスカルゴのバターソースがこれまた、マッチングで唸りました。この前菜だけでお腹が一杯になってきます。そしてその間にメインのオーダーですが、これがまた難しい、当然フランス語が判らない小

生はご一緒の夫人を通訳にしてのシェフとの会話です。この時シェフが今は鳩（ハト）が美味しいとのこと、何の葉っぱか忘れましたが、大きい葉っぱに包んで蒸し焼きだと説明。それに決めるのはよかったです。これからが問題で、それは量です。未だ前菜も残ってるし赤ワインも飲むので、シェフの意見を聞きました。笑って答えてくれました。これも2人前をオーダーして、シェアしてくださいと。この店は本当に歴史はあっても気さくで形式張らないので大助かりです。白ワインも三分の一は残して、迷ったあげく、せっかくだから少し踏ん張ろうと言い合ってジュブレーションベルタン（ドメヌ・ルイ・トラペ）を頼んだら、シェフがまたまたニコニコして、そのワインを選んだのは最高だと、君たちはワインをよく知ってるし、ブルゴーニュワインが一番だと言うのです。ポルドーワインもあるのにと思ったのですが、ジビエ料理なので、そうしました。今日の料理では最高だというのです。残った白ワインを飲んでもいいかと言うのでOKをしました。本当に気さくなシェフです。出てきました、ハトです、葉っぱの開け方をシェフが教えてくれて、後は向い同士でシェアです。特に胸肉が小生は美味しいと思いました。パンを食べるか聞いてきたのでブドウパンを少しオーダーしました。久しぶりの仲間とワイワイ・ガヤガヤ楽しんでいたらテーブル挟んだ席にいる老夫婦が、時々我々を見て、ワイングラスをかざして笑っていたのは嬉しく、こちらもグラスを持ち答えました。

今月はちょっと長くなりましたが、このくらいで筆をおきます。今夜はどうしましょうか、ま！ビールを飲んでから考えます。おそまつでした。（完）



（写真はパリ3区にあるレストラン「Chez l'Ami Louis」）

4人（アメリカ暮らしの夫人と我々野暮野郎3人）で、狭いテーブルに着きました。一応シャンペン（ハウスもの）で久しぶりの再会に乾杯しました。ここからいきなり前菜が出てくるのですが、大盛りのしかも大粒のエスカルゴです。先ほど述べたようにすごい量が出されるので2人前オーダーでシェアすることに、これでも一人12個でした。当然食べきれません。ついでに1人前の厚切りのフォアグラをオーダーです。シェフがニコニコしてテーブルへ持ってきてくれたのですが、日本人だね、特別サービスだと言ってのフォアグラでした。これも半端じゃない量です。この時は店で



《トピックス》

赤い羽根つけてどこへも行かぬ母

こんな俳句をどこかで見かけました。作者に断わりもせず引用し申し訳ありませんが、歳時記によると、赤い羽根は「秋」の季語とのこと。新しい言葉を取り入れて増殖する歳時記に相応しい季語と言えましょう。もっとも、赤い羽根の起源は決して新しくなく、1928年にアメリカの一部地域で水鳥の羽を赤く染めて募金活動のシンボルとしたことからヒントを得て、日本では1948年（昭和23年）の第二回募金活動から使われ始めたとのこと。

さる10月4日、我がクラブの年中行事となっている、センター南駅駅頭での募金活動を今年も実施いたしました。これは、日頃様々な活動で関係の深い都筑区社協の呼びかけに応じるもので、横田、岡田、今城T各ワイズが、昼前の1時間余り、駅前に立って声を張り上げて募金活動を行いました。すぐ近くに住む岡崎さん（休会中）も一緒に並んでくれました。昼前で、人通りもまばらな時間帯ということもありましたが、我々の箱に募金を入れてくれたのは僅か5人と言う有様で、ほとんどの人は目もくれずに通り過ぎて

行ってしまいました。一瞬、人情が薄くなったのか、との思いもよぎりましたが、考えてみると、今はクリック一つで行き先を絞って募金が出る時代、「お願いします！」の声につられて、どう使われるかも分からない募金をする人が少ないのも致し方ないかなと納得した次第です。

昔はこの季節になると、みんなの胸に赤い羽根が揺れていたものですが、今はめっきり見ることもなく、たまに見るのは一部の政治家の胸くらいなもの、これが現実なのでしょう。（TI）



《お詫びと訂正》 先月号の本誌4頁《ちょっとお耳を拝借！》の記事で、池内紀氏の著書「すごいトヨリbook」から「老化早見表」を引用させて頂きましたが、その中の「カテゴリ1」を“忘却症”としたのは誤りで、実は“忘却忘却症”（忘れたことを忘れてしまう）でした。早く訂正しておかないと書いたことすら忘れかねない筆者故、早速この場でお詫びして訂正いたします。（TI）

《開催間近》 コロナ禍による二年間のお休みの後、ようやくのこと You & I コンサートの再開を目指してクラブや関係者も動き出し、開催まで1カ月を切るところまで参りました。2011年の第1回から9回まで続いたコンサートは、地域の方々にも認知されてきましたが、二年間のインターバルがどう働くか、一同大変心配しております。右のチラシ2千枚は、みんなの手でほとんど配りつくしましたし、あちらこちらに張り出されています。ニュースリリースが効いてか、地域のミニコミや大新聞の地方版がイベント欄に取り上げてくれるという話も寄せられています。次号のプリテンには開催速報が掲載できると思います。いいお知らせが出来ることを祈っています。

（TI）

（9月の実績）

例会出席者	13名	在籍会員数	16名
メンバー	11名	月間出席者	13名
ビジター	0名	メーキャップ	1名
ゲスト	2名	月間出席率	87.5%
各種記録	当月実績	年度累計	
スマイル	0円	11,000円	

～あなたとわたし、障がい児・者ととともに～

第10回記念 You & I コンサート

※誰もが楽しめる、バリアフリーのクラシックコンサートです。
※車いす専用席も用意しています。

日時 2022年11月12日（土） 13:00開場 / 14:00開演
会場 横浜市都筑公会堂（横浜市営地下鉄センター南駅より徒歩6分）

出演 横浜室内合奏団・歌劇団（代表：佐藤大祐氏）
曲目 アイネ クライネ ナハトムジーク第一楽章 / モーツァルト
主よひとの望みの喜びよ / J.S.バッハ
悲愴第二楽章 / ベートーベン
そりすべり / L.アンダーソン
アハマリア / カッチーニ
アラジン / Aメンケン
歌劇「桃太郎」 / 小岩悦也作曲、佐藤大祐台本

（主催） You & I コンサート運営委員会
●NPO法人 アーモンドコミュニティネットワーク
●NPO法人 アスタPC
●NPO法人 みんなの家
●横浜YMCA
●横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ

（後援） 横浜市教育委員会
横浜市都筑区
都筑区社会福祉協議会

チケット情報
●障がい児・者 500円（付添い1名無料）
●一般 1000円
●中高生 500円（小学生以下無料）
（予約申し込み先） 横浜北YMCA You & I コンサート係
Tel. 045-433-4321 ※当日券もごさいませ

※このコンサートは、都筑区社会福祉協議会による善意銀行配分金、横浜YMCAチャリティーラン支援金の助成を受けて実施しています。
※新型コロナウイルス感染拡大等不測の事態により開催中止の際は、都筑公会堂WEBサイトの「イベント情報」にその旨掲載いたしますのでご注意ください。

△秋になり、クラブ活動にも活気が出てきました。様々なイベントが続きますが、肝心の我々の活力減退は否めません。気をつけなごら頑張るぞ！その中でも大変なのは十回目の記念すべきコンサートです。皆さんのご来場を心より願っております。是非来てね！移動例会では三浦YMCの移動会場を訪問します。何日の日か、そこを願うのは下見です。（編集子）